

第11回 江戸川・原爆の語り部カフェ

戦後73年が過ぎて、戦争当時の出来事を話してくださる方は、被爆地・広島、長崎でも年々少なくなってきています。その一方で「原爆の話をもっと聞きたい」と思っている、聞く場がないのが現状です。壇上からの話を一方的に聞くのではなく、ちゃぶ台を囲む感じで、当時の話を聞いてみませんか？

日時 2月16日土曜日 14時～15時半

① 李明燁さん（くにたち原爆・戦争体験伝承者）の証言

国立市では2015年に「くにたち原爆・戦争体験伝承者育成プロジェクト」を発足させました。伝承者は体験者からの聞き取りや実相学習、話法、朗読技術の基礎など15ヶ月間の研修を受け「くにたち原爆・戦争体験伝承者」として活動しています。李明燁（イ・ミョンファ）さんには、平田忠道さん（1930年生まれ・広島で被爆）の被爆体験を証言してもらいます。また、伝えるときにどんな工夫をしているのかも教えてもらいます。

② 『被爆樹巡礼』著者・杉原梨江子さんミニ講座

広島市は爆心地から半径2キロ圏内にある約170本の樹木を「被爆樹木」として認定しています。杉原さんは1本1本訪ね歩き、被爆当時の記憶のある人、木を守っている人にも話を聞き、上梓されました。被爆樹木は原爆被害の「生き証人」として核兵器の恐ろしさと平和の尊さを伝えていきます。あらためて被爆樹木の持つ力を杉原さんにうかがいます。（時間があったらフリートーク）



★場所 江戸川区中葛西3-33-6
レストラン 伊太利庵

（東西線葛西駅中央口を出て、一つ目の角三井住友銀行ATMを左に入る。セブンイレブンの向かい）

★料金 ワンドリンク500円

★当日参加可、申し込み不要

（雨が降らなかったら、お店近くの滝野公園内にある「原爆犠牲者追悼碑」にお参りして記念撮影します）